



HORIBA

説明内容

- 2010年12月期 上期決算概要
- 2010年12月期 業績計画
- セグメント別詳細説明
- 経営上の取組事項

< 免責事項 >

本プレゼンテーション資料には、株式会社堀場製作所の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。また経済動向、他社との競争状況、為替レートなどの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、為替レート、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

Explore the future Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific **HORIBA** 2

© 2010 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

説明内容

- 2010年12月期 上期決算概要
- 2010年12月期 業績計画
- セグメント別詳細説明
- 経営上の取組事項

2010年12月期 上期 連結実績

(金額:億円)

	2009年上期	2010年上期		従来予想	
	実績	実績	前年同期比	5/10時点	2/15時点
売上高	490	551	+12.4%	550	540
営業利益	16	46	+184.6%	35	22
営業利益率	3.3%	8.4%	+5.1P	6.4%	4.1%
経常利益	17	46	+171.1%	34	17
中間純利益	10	30	+194.6%	24	9

2010年12月期 上期 決算概要

自動車の回復遅れるも、半導体回復で増収増益

P/L

- ・半導体の需要回復・拡大、自動車の回復遅い
- ・為替影響(対日本円)により、売上高▲13億円、営業利益▲2億円

売上高+12.4%、営業利益+184.6%、中間純利益+194.6%

B/S

- ・現金及び預金増加+28億円、受取手形及び売掛金▲23億円
- ・支払手形及び買掛金+27億円

総資産は昨年末と同水準 総資産+16億円

C/F

- ・利益計上などで営業CF +81億円
- ・設備投資などにより投資CF ▲16億円
- ・配当支払などで財務CF ▲4億円
- ・円高に伴う現金等の換算差額 ▲10億円

フリーキャッシュフロー創出による資金増加 現預金 +49億円

2010年12月期 上期 セグメント別実績

(単位: 億円)

【前年同期比】

	売上高			営業利益		
	2009年 上期	2010年 上期	前年 同期比	2009年 上期	2010年 上期	前年 同期比
自動車	183	151	▲17.7%	13	▲1	-
分析	155	156	+0.5%	5	6	+12.9%
医用	107	111	+3.9%	7	10	+39.8%
半導体	43	132	+201.7%	▲11	30	-
合計	490	551	+12.4%	16	46	+184.6%

2010年12月期 上期 セグメント別実績

(単位: 億円)

【前回予想比(5月10日発表比較)】

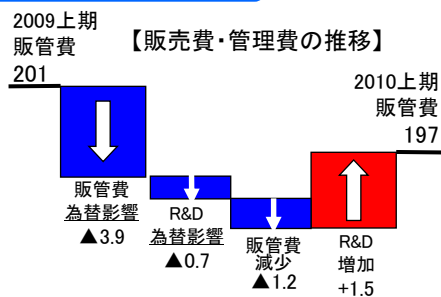
	売上高	営業利益	要因分析
自動車	▲8	+1	排ガス: 国内案件の売上増で利益は好転 DTS : 欧州/中国向けで未達、円高で目減り
分析	▲3	+0	ユーロ安(円高)による売上高・利益目減り 科学の日本製品採算悪化、環境の収益性改善
医用	+1	+2	ユーロ安(円高)による売上高・利益目減り 米国での収益性改善が後押し
半導体	+12	+6	シリコン半導体向け回復、LED向け拡大顕著 薬液モニタも回復基調
合計	+1	+11	

業績回復へ向けた施策

(単位: 億円)

経費削減活動の進捗

- 販売費・管理費
年間計画: 2009年比 25億円増加
(人件費10億円、その他15億円)
→ 上期時点: 昨年とほぼ同ピッチ
- 研究開発費
年間計画: 100億円
→ 上期時点: 49億円



2010年通期計画

- 支出引き締めは、全グループ会社で維持
- 投資等の計画は据え置き
研究開発費(100億円)、設備投資(45億円)、減価償却費(45億円)

➡ 新製品投入への積極投資継続

説明内容

- 2010年12月期 上期決算概要
- 2010年12月期 業績計画
- セグメント別詳細説明
- 経営上の取組事項

外部環境

- 自動車産業
 - 設備投資予算は回復も、慎重姿勢続く
 - 中国市場の拡大
- 先端分析産業(科学)
 - 政府関連投資の減少懸念
 - 民間投資拡大基調だが、進ちょくは緩やか
- 環境計測分野(環境)
 - 先進国での投資回復は来年以降
 - アジア諸国での環境規制強化による市場拡大
- 検体検査分野(医用)
 - 公的医療への投資増加(米↓、欧州→、日本→、中国↑)
 - 検体検査関連企業の業績は堅調
- 半導体産業
 - シリコン半導体の微細化プロセス向け投資増加
 - LED需要の大幅拡大

受注の状況

(単位: 億円)

	受注実績							受注残 2010年 2Q末
	2008年	2009年				2010年		
	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	
自動車	88	55	85	86	81	103	80	190
分析	59	67	78	76	91	82	79	78
医用	51	55	55	55	59	57	56	22
半導体	26	15	25	38	53	68	71	29
合計	225	194	243	256	284	311	287	320

※ 2Qの受注額は、為替による目減りが約26億円
(ユーロが第1四半期水準であれば約313億円の受注水準)

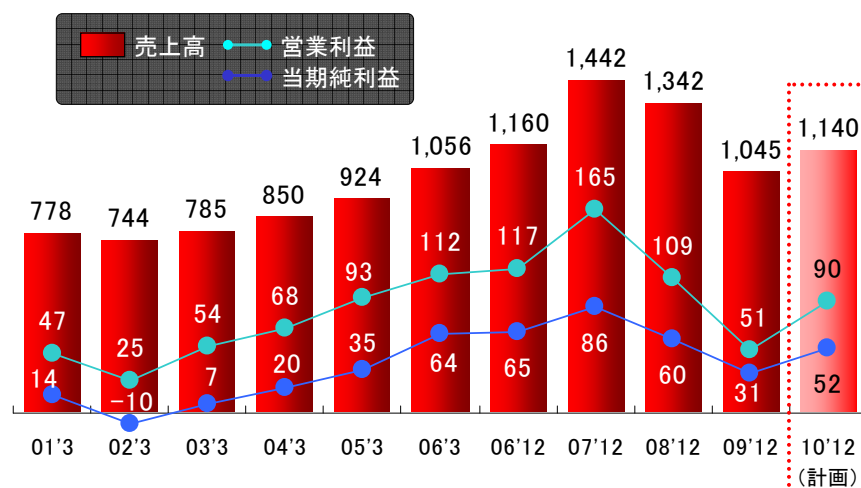
△ 自動車 為替による目減り約14億円。本格回復は3Q以降想定。

○ 半導体 注文ピッチの減速感無し。工場フル稼働続く。

全社

連結売上高・営業利益・当期純利益推移

(単位: 億円)



HORIBA

2010年12月期 連結業績通期計画

(金額:億円)

	2009年	2010年(計画)		従来予想	
	実績	修正計画	前期比増減	5/10時点	2/15時点
売上高	1,045	1,140	+9.1%	1,180	1,130
営業利益	51	90	+75.0%	85	65
営業利益率	4.9%	7.9%	+3.0P	7.2%	5.8%
経常利益	52	85	+61.2%	78	55
当期利益	31	52	+64.5%	50	32
ROE	4.0%	6.4%	+2.4P	6.1%	3.9%
為替レート	2010年想定レート US\$ =90円 EUR=110円 2009年度レート US\$ =93.65円 EUR=130.35円 営業利益への影響=1円円高→ドル1億3,800万円、ユーロ2,400万円 減益				

Explore the future Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific **HORIBA** 13
© 2010 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

2010年12月期 セグメント別業績計画

(単位:億円)

【前年同期/前回予想比】

	売上高				営業利益			
	2009年 実績	2010年 前回計画	2010年 今回計画	前回 予想比	2009年 実績	2010年 前回計画	2010年 今回計画	前回 予想比
自動車	371	360	360	-	18	6	6	-
分析	325	350	315	▲10%	15	15	13	▲13%
医用	223	240	215	▲10%	19	21	18	▲14%
半導体	124	230	250	+9%	▲0	43	53	+23%
合計	1,045	1,180	1,140	▲3%	51	85	90	+6%

Explore the future Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific **HORIBA** 14
© 2010 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

説明内容

- 2010年12月期 上期決算概要
- 2010年12月期 業績計画
- **セグメント別詳細説明**
- 経営上の取組事項

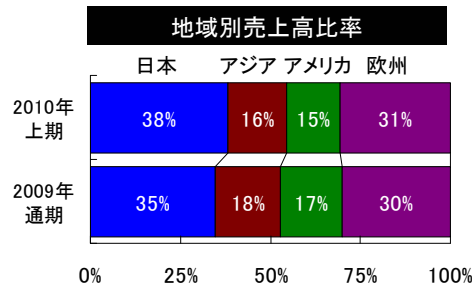
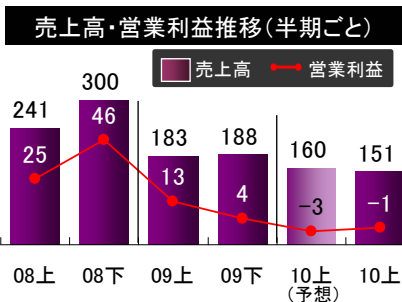
自動車 上期実績の背景

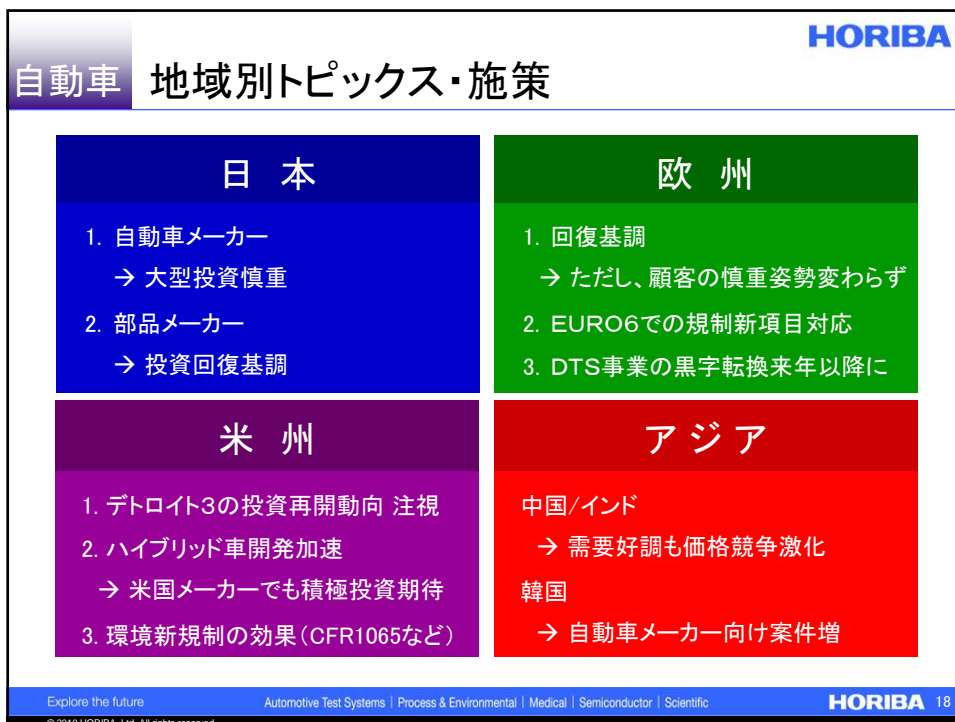
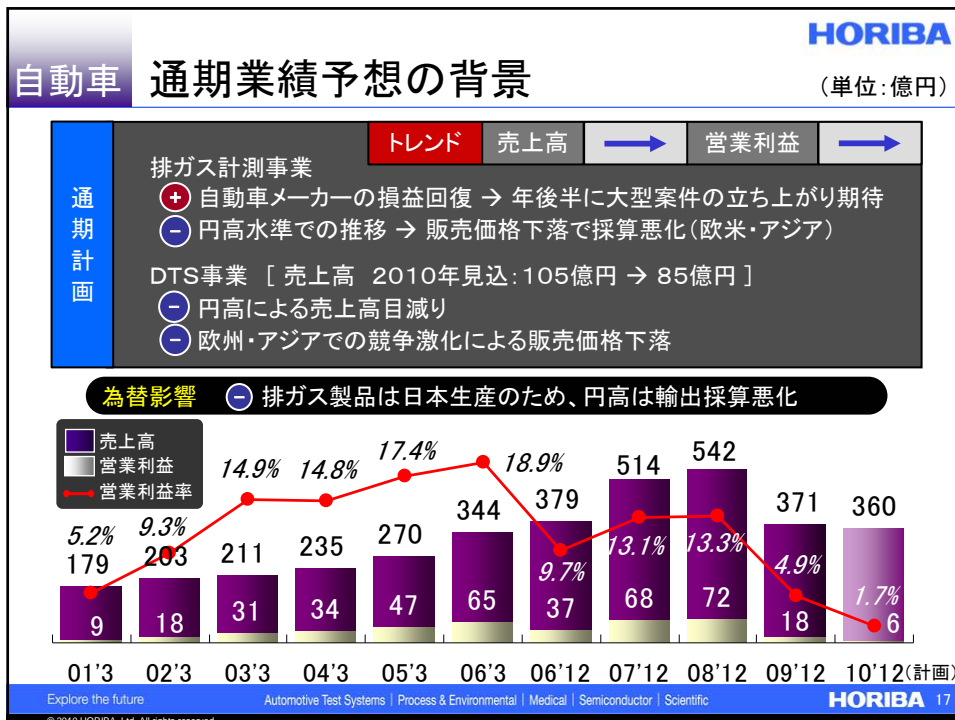
(単位: 億円)

上期実績

排ガス計測事業
 ⊖ 1Q: 国内の3月期末案件減少
 ⊕ 2Q: 国内/欧州で少し持ち直し利益確保

DTS事業
 ⊖ 中国・欧州で売上未達、円高による売上高目減り影響大





分析

上期実績の背景

(単位: 億円)

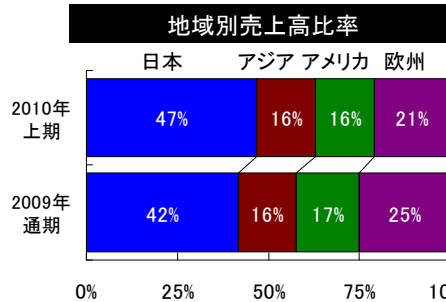
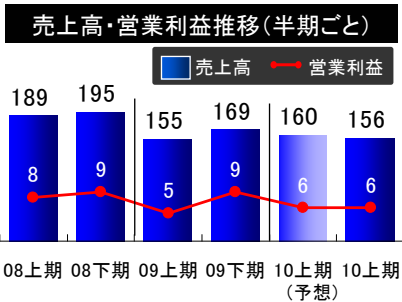
上期実績

科学

- + 1Q: 補正予算(国内)でホリバ・ジョバンイボン社製品好調、利益率UP
- + 2Q: 民間投資徐々に取り込み
- 円高による売上高目減り

環境

- + 販売価格持ち直しで収益性改善
- 円高による売上高目減り/収益性悪化



分析

通期業績予想の背景

(単位: 億円)

通期計画

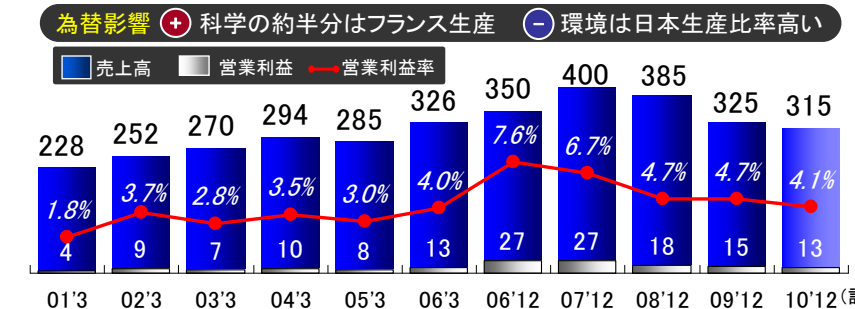
トレンド 売上高 → 営業利益 →

科学

- + ホリバ・ジョバンイボン社製品は、ユーロ安継続でコストメリット増
- 堀場製作所製品の円高による採算性悪化
- 各国政府補助金等の減少、大学向け案件減少懸念

環境

- 各国政府関連投資等の減少による影響、円高による採算性悪化



分析 事業展開

HORIBA

(単位: 億円)

科学分野

顧客・市場別の状況

● 先端市場向け

- ・ 3月以降も国内案件横ばい
- 学術関連のサポート強化奏功
- △ 電子部品の供給不足で出荷遅れ懸念

● 一般産業向け

- ・ 7月以降、設備投資拡大期待
- 円高で堀場製作所製品の採算悪化

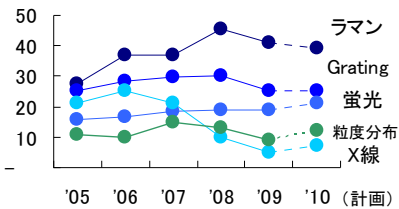
▲ 中国市場: マーケットは堅調

- ・ 政府が先端技術への投資を開始
- ・ 新規規制動向注視
- △ 円高により堀場製作所製品採算悪化

科学分野損益

	2008	2009	2010	
	実績	実績	前回計画	今回計画
売上高	248	205	220	200
営業利益	8	12	12	8

主要製品の売上高推移



Explore the future

Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific

HORIBA 21

© 2010 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

分析 事業展開

HORIBA

(単位: 億円)

環境分野

国内市場

● 過当競争状態からの脱却

- 出荷台数は減少も採算性改善

● 全体需要の回復感は見えず

- 煙道排ガス計など本格回復は来年以降

海外市場

● アジア諸国での規制対応

- 海外でのシェア拡大(水質計など)

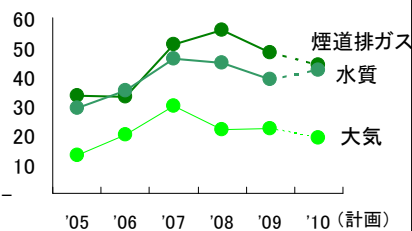
● 現地設計・開発推進

- 中国新工場活用でブランド定着めざす

環境分野損益

	2008	2009	2010	
	実績	実績	前回計画	今回計画
売上高	137	120	130	115
営業利益	10	2	3	5

主要製品の売上高推移



Explore the future

Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific

HORIBA 22

© 2010 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

医用

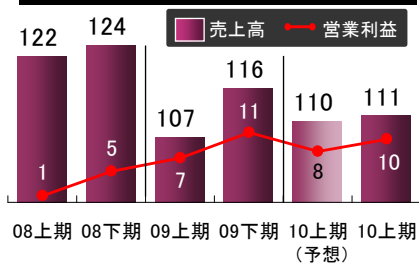
上期実績の背景

(単位: 億円)

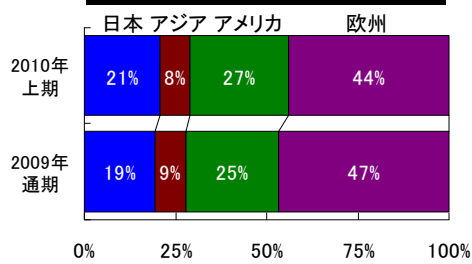
上期実績

- 国内
 - ⊕ 「小型血球計数+CRP」装置好調維持
- 米国
 - ⊕ 損益改善(ユーロ安、経費削減、試薬販売増)
- 欧州
 - ⊕ ハード出荷堅調、景気減退インパクトは懸念

売上高・営業利益推移(半期ごと)



地域別売上高比率



医用

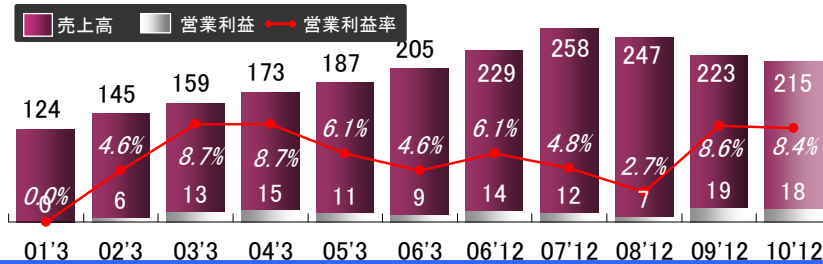
通期業績予想の背景

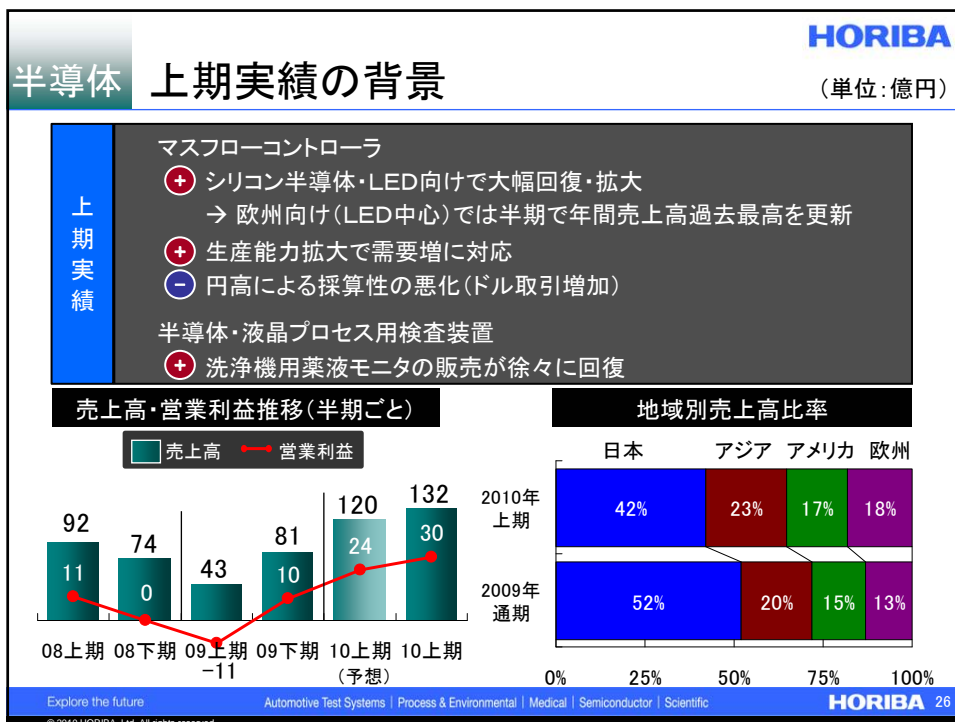
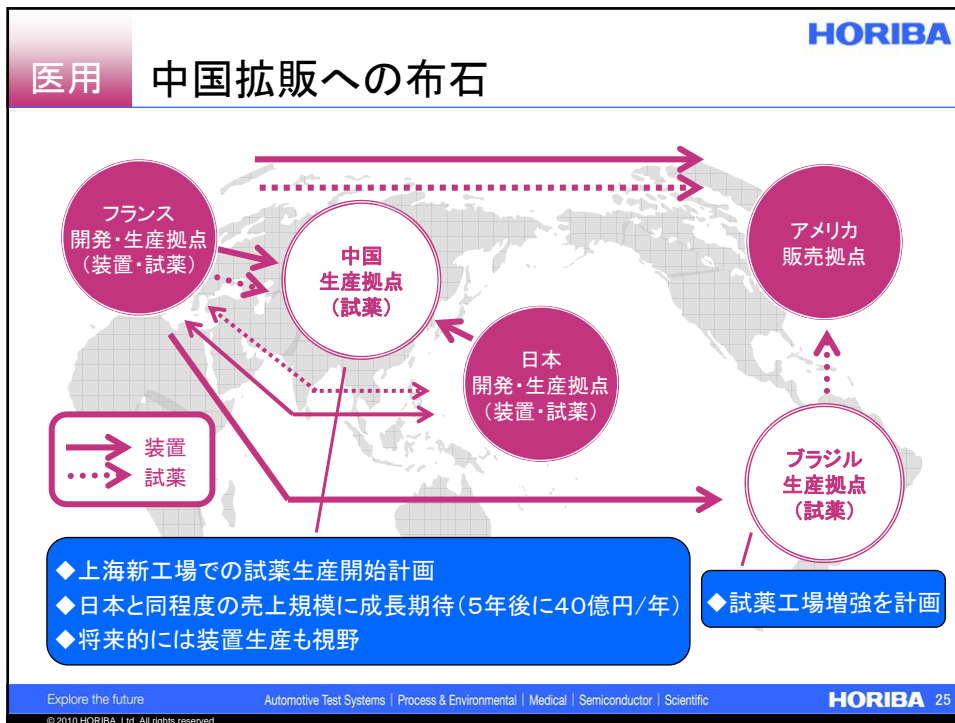
(単位: 億円)

通期計画

- ⊕ ユーロ安でホリバABX製品の競争力UP・利益率改善
- ⊕ 製品設置台数増加による試薬販売高増加
- ⊕ 米国での収益性改善顕著(コスト削減、ユーロ安メリット、販社強化)
- ⊖ 円高水準での推移による売上高・利益の目減り

為替影響 ⊕ 8割仏製でユーロ安はコスト面でプラス、換算で目減り顕著





半導体 通期業績予想の背景

(単位: 億円)

トレンド 売上高 → 営業利益 →

通期計画

マスフローコントローラ

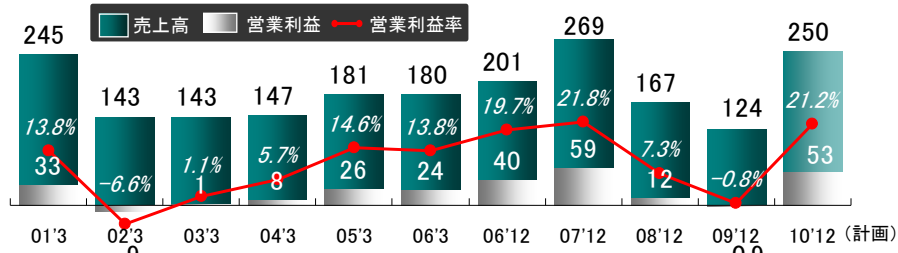
- ⊕ シリコン半導体・LED向けは堅調維持
- ⊕ 太陽電池製造装置向けでも回復感
- ⊖ 来期以降の先行きは不透明

半導体・液晶プロセス用検査装置

- ⊕ 在庫調整終了し、徐々に回復基調

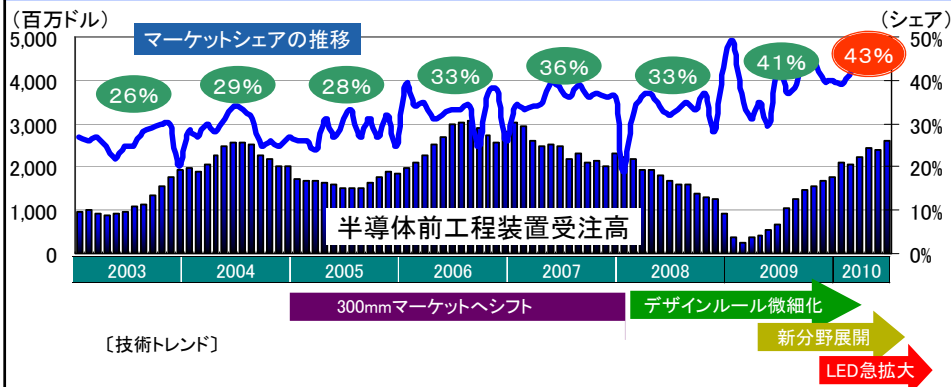
生産台数(月産)
2007年: 1万台
2010年: 1.5万台
生産能力は
1.5万台→2万台体制へ

為替影響 ⊖ 製品の開発・生産は大半が日本、米国向けで利益圧迫



Explore the future Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific

半導体 マスフローコントローラ(MFC)の動向



【市場の動向(2009年~2010年前半)】

- シリコン半導体の微細化プロセス投資拡大(スマートフォン、アジア市場拡大)
- MOCVD装置(LED向け)の需要拡大顕著、メーカー数増加
- MFC業界の再編 → シェア拡大チャンス

出典: SEMI

Explore the future Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific

HORIBA

半導体 MFC用途別売上高 (単位: 億円)

	2007年		2008年		2009年		2010年				今後の予想
	実績		実績		実績		上期実績		通期計画		
	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	
シリコン半導体	138	71%	58	48%	54	55%	65	60%	130	59%	→
太陽電池	8	4%	16	13%	7	7%	5	5%	15	7%	→
液晶	12	6%	12	10%	2	2%	0	0%	5	2%	→
LED	0	0%	1	1%	10	10%	21	19%	45	20%	→
その他	37	19%	33	28%	26	26%	16	15%	25	11%	→
合計	195	100%	120	100%	99	100%	108	100%	220	100%	→

【アプリケーション別トピックス】

- シリコン半導体 微細化プロセス向け案件増加・米国向けシェアUP
- 太陽電池 中国市場で需要回復、徐々に拡大基調
- LED MOCVD主要メーカーで高シェア・拡大加速

アジア市場での強みを生かして世界シェア50%超をめざす

Explore the future Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific **HORIBA** 29

© 2010 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

HORIBA

説明内容

- 2010年12月期 上期決算概要
- 2010年12月期 業績計画
- セグメント別詳細説明
- **経営上の取組事項**

Explore the future Automotive Test Systems | Process & Environmental | Medical | Semiconductor | Scientific **HORIBA** 30

© 2010 HORIBA, Ltd. All rights reserved.

グローバル経営の推進・強化

社外から執行役員・マネジャーの採用



Dr. Jai Hakhu

- 堀場製作所 専務執行役員
(2010年4月1日付就任)
- 元 インテル社(米) 副社長
→ 中長期経営計画推進



Axel Wendorff

- ホリバ・ヨーロッパ社 副社長
(2010年1月1日就任)
- 元 マクラーレン・メルセデスF1
チーフエンジニア
→ DTS事業の拡大推進

グループ会社から執行役員登用



Dr. Michel Mariton

常務執行役員
【科学事業担当】

Rex Tapp

執行役員
【自動車事業担当】



Bertrand de Castelnaud

執行役員
【医用事業担当】



製品供給体制の強化

マスフローコントローラの生産能力増強

- 京都・熊本(阿蘇)の2国内工場の能力増強
 - ◆ 京都:ハイエンド製品、熊本:量産品主体
 - ◆ 部品調達体制の再構築 → 海外ネットワークの活用
 - ◆ 月産 1.5万台 → 2万台体制へ
- 韓国・中国での試験生産開始
 - ◆ 増大する現地ニーズに対応(太陽電池向け主体)



中国(上海)工場を移転・拡大

- 現有2工場から自動車・環境の製品移管
- 検査試薬の生産予定(医用)
- デモンストレーションラボ設置予定(自動車)
 - 2010年8月 第1期オープン
 - 2011年1月、本格稼働予定



敷地面積
 現有2工場合計: 9,000m²
 新工場 : 12,600m²

中国の基幹工場として期待

その他のトピックス

“次世代EV京都プロジェクト”に参画

- 参画企業
 - 京都市、日産自動車、三菱自動車、HORIBA
- プロジェクト概要
 - 電気自動車 (EV) の普及促進
 - 環境にやさしい車利用の普及促進
 - 京都の交通事情にあった車利用システムの開発
 - エコドライブの普及促進
- HORIBAの役割
 - デジタルタコグラフなどでEVの運行状況を解析



ホリバアイテック社でも活躍する三菱自動車 i-MiEV



日産自動車 Leaf

「One Company 経営」の推進

HORIBA Group is One Company

HORIBAグループは、統一されたブランドの下、ビジョン・戦略を共有し、One Companyとして、グループの企業価値・利益最大化を追求する

- < これまでの施策 >
- 社名変更・ブランドの統一
 - マトリックス経営の導入
 - 米国/欧州グループ会社再編
 - シェアドサービス拡大(米国/日本)

配当政策および今期の配当金について

配当政策

- 配当金 = 個別(単体)純利益 X 30%
※個別純利益にはグループ会社の前期利益からの配当が含まれる
- 残りは戦略的投資資金として内部留保(設備投資・M&A等)

配当予想

- 今期は業績好転しているが、前期減益でグループ会社からの配当金減少
→ 2009年12月期配当 13円(中間 6円、期末 7円)
→ 2010年12月期配当予想 15円(中間 6円、期末 9円)



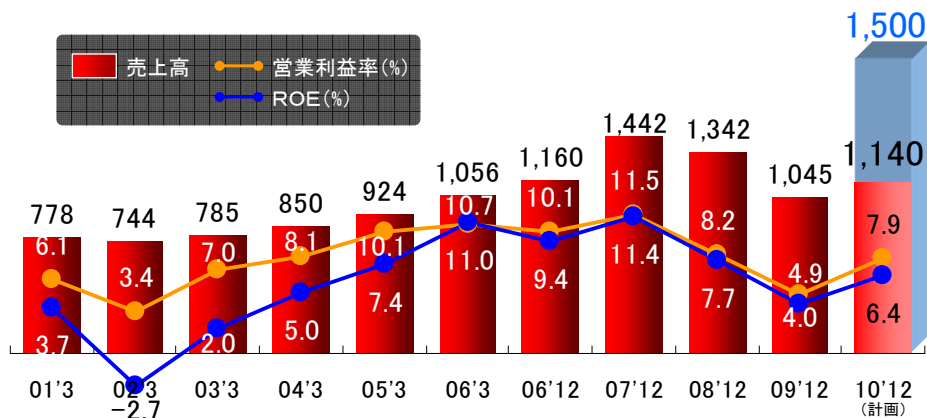
中長期経営計画

(単位:億円)

現・中長期経営計画(2010年目標)

- ・売上高 1,500億円
- ・営業利益 10%以上
- ・ROE 11%以上

次期・中長期経営計画(2011-2015年)
【2011年1月発表予定】

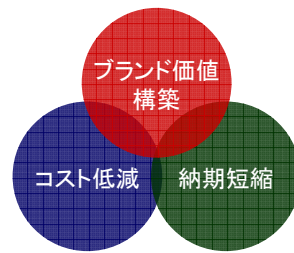


HORIBAグループ経営方針

2010年度

“ First Class Quality ”

～ 真の高品質企業への挑戦 ～



品質改善への投資拡大で、ブランド価値・コスト面・納期面でシナジー効果期待

